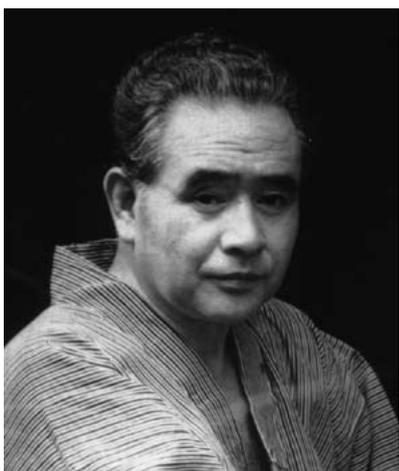


ふかがわ  
深川

しょういちろう  
正一郎(1902~1987)



俳人。宇摩郡<sup>うま</sup>上山村<sup>かみやま</sup>(現、四国中央市)出身。大正13(1924)年、上京して文藝春秋社に入社、その後、日本コロムビアに入るが、このとき高浜<sup>たかはま</sup>虚子<sup>きょし</sup>の俳句朗読のレコード制作を企画実施し、その際に虚子の知遇を得て師事した。昭和21(1946)年より俳句一筋に生き、終生虚子の遺訓に従い、『ホトトギス』の中心的な存在となった。温厚な人柄で句風も穏やかで巧みであった。連句実作者としても知られている。また、句作と併行して380篇にも及ぶ写生文を書いた。

## 略歴

明治35(1902)年3月6日	宇摩郡上山村に生まれる。
大正13(1924)年	文藝春秋社に入社
昭和5(1930)年	文藝春秋社を退社して、『蓄音機時報』の編集長となる。
昭和9(1934)年	日本コロムビアに入社
昭和10(1935)年	日本コロムビアへ俳句朗読を吹き込みにきた高浜虚子と出会う。
昭和14(1939)年	『ホトトギス』同人となる。
昭和15(1940)年	兵役を離れ、日本コロムビアへ復職
昭和20(1945)年	日本コロムビアを退社し、以後、俳句の道を歩む。
昭和21(1946)年	『定本川端茅舎句集』を編集発行
昭和22(1947)年	俳誌『紫苑』の雑詠選者(同36年3月号まで)
昭和23(1948)年	『正一郎句集』刊行 俳誌『龍巻』の雑詠選者(同26年6月号まで)
昭和24(1949)年	俳句の月刊誌『冬扇』を創刊
昭和25(1950)年	『定本虚子全集』(創元社)を編集刊行
昭和48(1973)年	俳誌『冬扇』通巻197号で終刊
昭和58(1983)年	エッセイ集『俳小話』刊行
昭和62(1987)年	『ホトトギス』同人会長となる。 日本伝統俳句協会創立、同協会副会長に就任
8月12日	85歳で永眠

(写真提供：内田巖氏)

〈関連図書〉

- ・ 深川正一郎『正一郎句集』 冬扇社 1982年
  - ・ 愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
  - ・ 日本伝統俳句協会『深川正一郎句集』 永田書房 1989年
  - ・ 川口咲子『深川正一郎の世界』 梅里書房 1991年
  - ・ 愛媛新聞社情報出版局出版部『えひめ俳人名鑑』 愛媛新聞社 1992年
- 〈主な収蔵資料〉…(P228, 144)